

【抄録】

2 型糖尿病患者に対する SGLT-2 阻害薬イプラグリフロジンの前向き観察研究

【目的】 従来治療で効果不十分な患者に対するイプラグリフロジン(Ipra)の有効性と安全性を検討する。

【対象・方法】 名古屋市及び近郊の 110 施設に受診中の 2 型糖尿病患者に同剤 50mg/日を 24 週間投与した。

【結果】 24 週までのデータが揃った症例を対象に解析した結果、開始 24 週後に HbA1c は $7.34\pm 0.91\%$ から $6.82\pm 0.68\%$ へ低下した(N=159, $p<0.001$)。空腹時血糖、血中インスリン、HOMA-IR、体重、血圧、ウエスト周囲長、TG は開始時から有意に低下した。HDL-C は有意に増加した。因果関係が否定できない有害事象は 24/321 例(7.5%)に発現したが、低血糖症はなかった。服薬遵守率は年齢層にかかわらず 90%超を維持していた。

【結語】 Ipra 投与により、血糖コントロールに加え糖尿病に随伴する所見の改善が認められた。